

SIDR

(滋賀県感染症情報)
SHIGA Infectious Diseases Report《月報》
平成 24 年 10 月
(第 40 ~ 43 週)発行年月日: 平成 24 年(2012 年) 12 月 4 日
発 行: 滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

1) 全数報告の感染症(一類~五類)

全国の医療機関において、感染症法で定められている一~四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出することになっています。

このことを全数報告といい、届出により全国または滋賀県で発生している一~四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

滋賀県における全数報告感染症の概要

(10 月)

<結核> 10 名 性別: 男性 6 名、女性 4 名

類型: 患者 5 名、無症状病原体保有者 5 名

病型: 肺結核 5 名

無症状病原体保有者 5 名

<腸管出血性大腸菌感染症>

性別: 男性 2 名

類型: 患者 1 名、無症状病原体保有者 1 名

年齢: 41 歳、88 歳

血清型・毒素型:

O157・VT1+VT2 1 名

O146・VT1+VT2 1 名

<アメーバ赤痢> 女性 44 歳

推定感染経路は不明で、推定感染

地域は日本国内です。また、病型は腸管アメーバ症です。

<後天性免疫不全症候群>

男性 52 歳

推定感染経路は性的接触(異性間)で、感染地域は日本国内です。

また、病名は、AIDS です。

感染症 類型	疾 病 名	平成 24 年			平成 23 年 ^{*1}			感染症 類型	疾 病 名	平成 24 年			平成 23 年 ^{*1}		
		1~9 月		10 月	1~12 月		1~9 月		10 月	1~12 月		滋賀県		全国	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	ベスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	結核	207	21,720	10	2,182	338	31,467	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
三類	コレラ	0	3	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	78
	細菌性赤痢	0	165	0	18	5	299	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	35	3,001	2	414	71	3,938	0	0	0	0	0	0	0	9
	腸チフス	0	25	0	4	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0
	バラチフス	0	16	0	2	0	23	0	0	0	0	0	0	0	3
四類	E型肝炎	0	91	0	5	0	61	0	0	0	0	0	0	0	8
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	1	129	0	10	0	176	0	0	0	0	0	0	0	27
	エキノコックス症	0	10	0	1	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	6	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジョイデス症	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクシングニア熱 ^(*)	0	4	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	つぶつ虫病	1	196	0	10	1	461	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	1	159	0	29	1	112	0	0	0	0	0	0	0	0
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(*): 感染症法の一部改正(平成23年2月1日施行)により、2月からの集計。-: 未集計

*1 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、H24.3現在)

動物の 感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	0	0	0	0	0	0	72
	細菌性赤痢のサル	0	1	0	0	0	9	37
	エキノコックス症の犬	0	0	0	0	0	0	0

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したもので(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。

また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

10月の概要

<インフルエンザ>

先月よりわずかに増え、第43週(10/22～10/28)には定点当たり患者数は0.36となっていました。

<小児科定点疾患>

右記グラフ(疾患別定点患者数)に示すとおり、前月より増加した疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症およびA群溶レン菌咽頭炎等で、減少した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、ヘルパンギーナ等で、水痘、手足口病、感染性胃腸炎、突発性発しん等は横ばいでした。各疾患の週別発生状況は、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照。

RSウイルス感染症——先月(患者数53人)より増加し、今月の患者数は151人となっていました。

年齢群別発生割合は下記グラフのとおりでした。

A群溶レン菌咽頭炎——先月(患者数122人)より増加し、先月と同様に昨年同時期と比較すると多くなっていました。

ヘルパンギーナ——県全体では減少傾向となっていましたが、高島保健所管内では多い状態が継続し、警報終息基準値(2.00)を超えていました。

<眼科定点疾患><基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少し患者数は3人でした。

急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は先月(患者数18人)より増加し、今月の患者数は24人でした。長浜保健所管内からの報告が多くなっていました。

また、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎および無菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

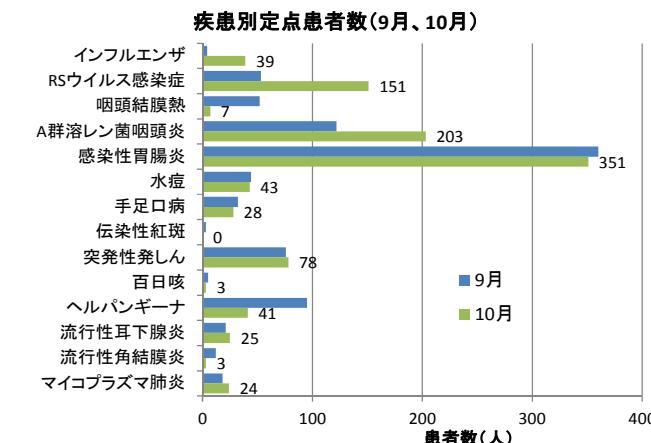
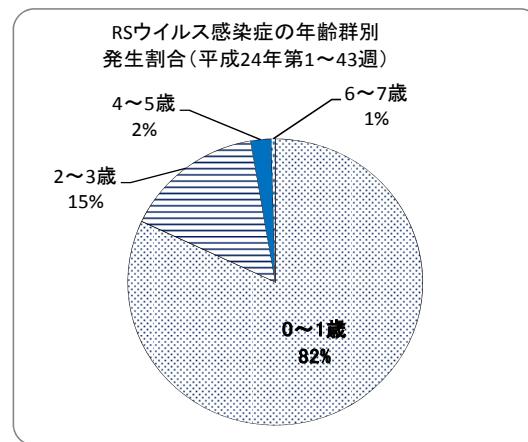
<インフルエンザ(入院)>

インフルエンザサーベイランスにおけるインフルエンザの入院患者の届出はありませんでした。また、全国における第40～43週の入院患者数は23名でした。

<疑似症定点からの報告>

疑似症定点からの報告はありませんでした。

RSウイルス感染症の年齢群別発生割合 (平成24年第1～43週、H24.1.2～H24.10.28)

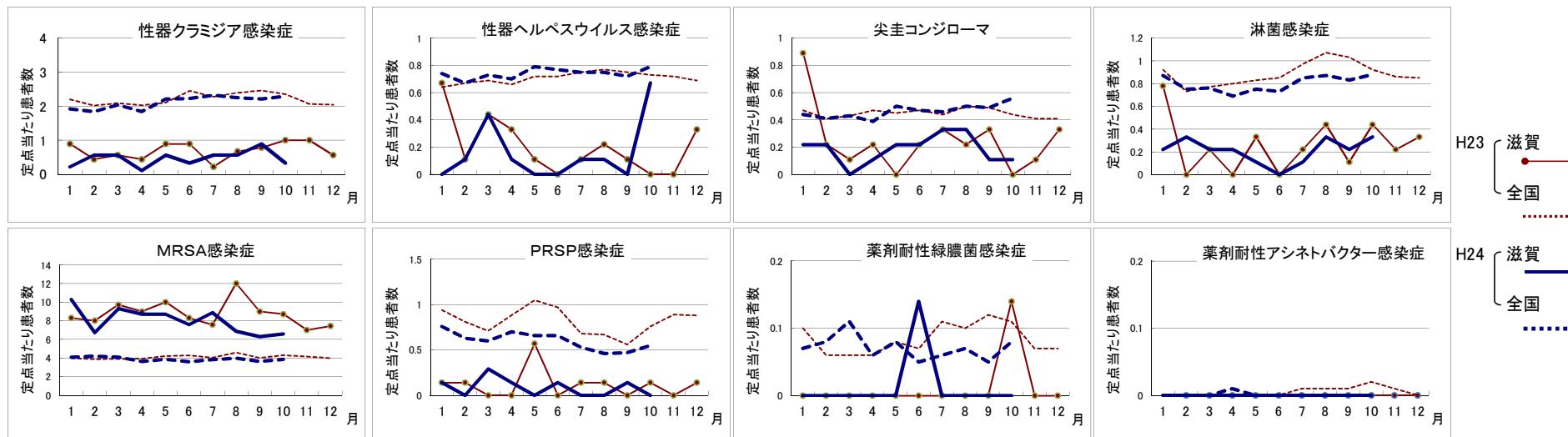


<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

3)性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成24年10月)

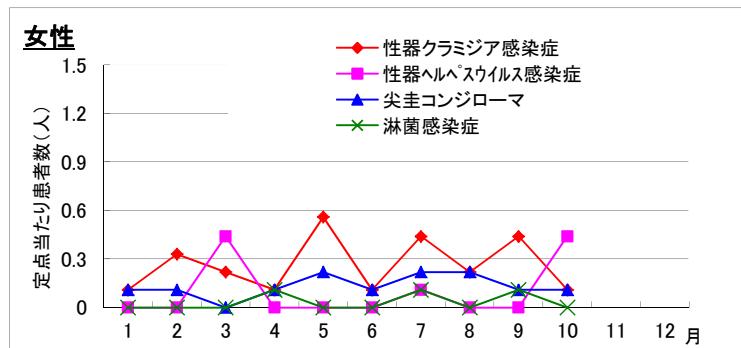
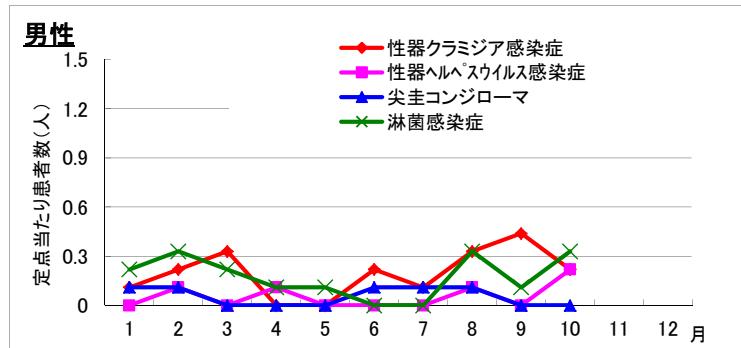
疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	報告数	2	5	5	1	5	3	5	5	8	3			42
	定点当たり患者数	0.22	0.56	0.56	0.11	0.56	0.33	0.56	0.56	0.89	0.33			4.68
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	0	1	4	1	0	0	1	1	0	6			14
	定点当たり患者数	0	0.11	0.44	0.11	0	0	0.11	0.11	0	0.67			1.55
尖圭コンジローマ	報告数	2	2	0	1	2	2	3	3	1	1			17
	定点当たり患者数	0.22	0.22	0	0.11	0.22	0.22	0.33	0.33	0.11	0.11			1.87
淋菌感染症	報告数	2	3	2	2	1	0	1	3	2	3			19
	定点当たり患者数	0.22	0.33	0.22	0.22	0.11	0	0.11	0.33	0.22	0.33			2.09
メチシリン耐性	報告数	72	47	65	61	61	53	62	48	44	46			559
黄色ブドウ球菌感染症	定点当たり患者数	10.29	6.71	9.29	8.71	8.71	7.57	8.86	6.86	6.29	6.57			79.86
ペニシリン耐性	報告数	1	0	2	1	0	1	0	0	1	0			6
肺炎球菌感染症	定点当たり患者数	0.14	0	0.29	0.14	0	0.14	0	0	0.14	0			0.85
薬剤耐性	報告数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0			1
緑膿菌感染症	定点当たり患者数	0	0	0	0	0	0.14	0	0	0	0			0.14
薬剤耐性	報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
アシнетバクター感染症	定点当たり患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0



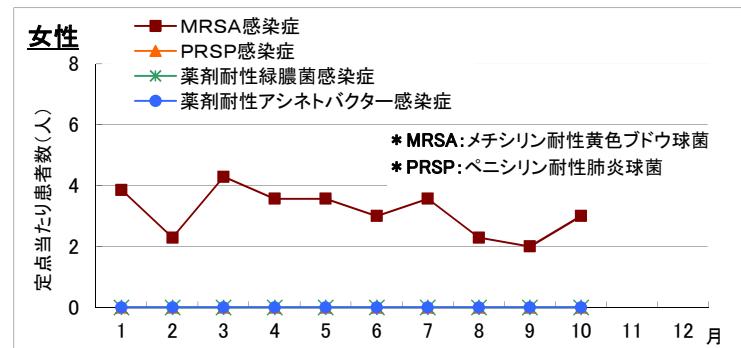
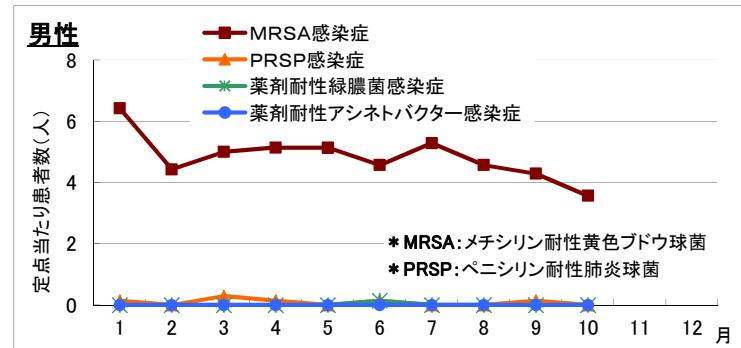
滋賀県における発生状況は上記に示すとおりです。先月と比較すると、増加した疾患は性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症およびMRSA感染症で、減少した疾患は性器クラミジア感染症およびPRSP感染症でした。また、薬剤耐性緑膿菌感染症および薬剤耐性アシネットバクター感染症については、先月と同様、報告はありませんでした。

MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

性感染症定点における疾患別発生状況 (H24.10)



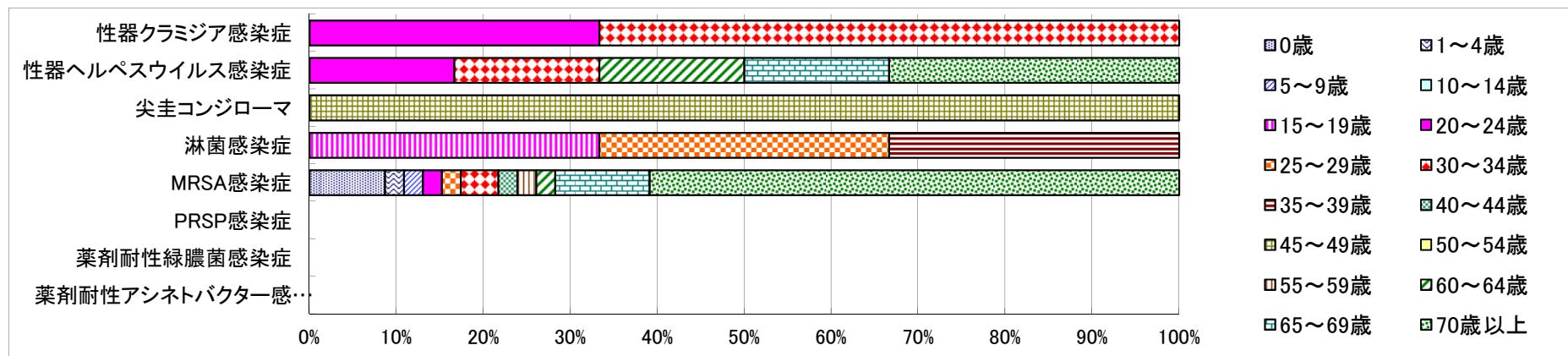
基幹定点における疾患別発生状況 (H24.10)



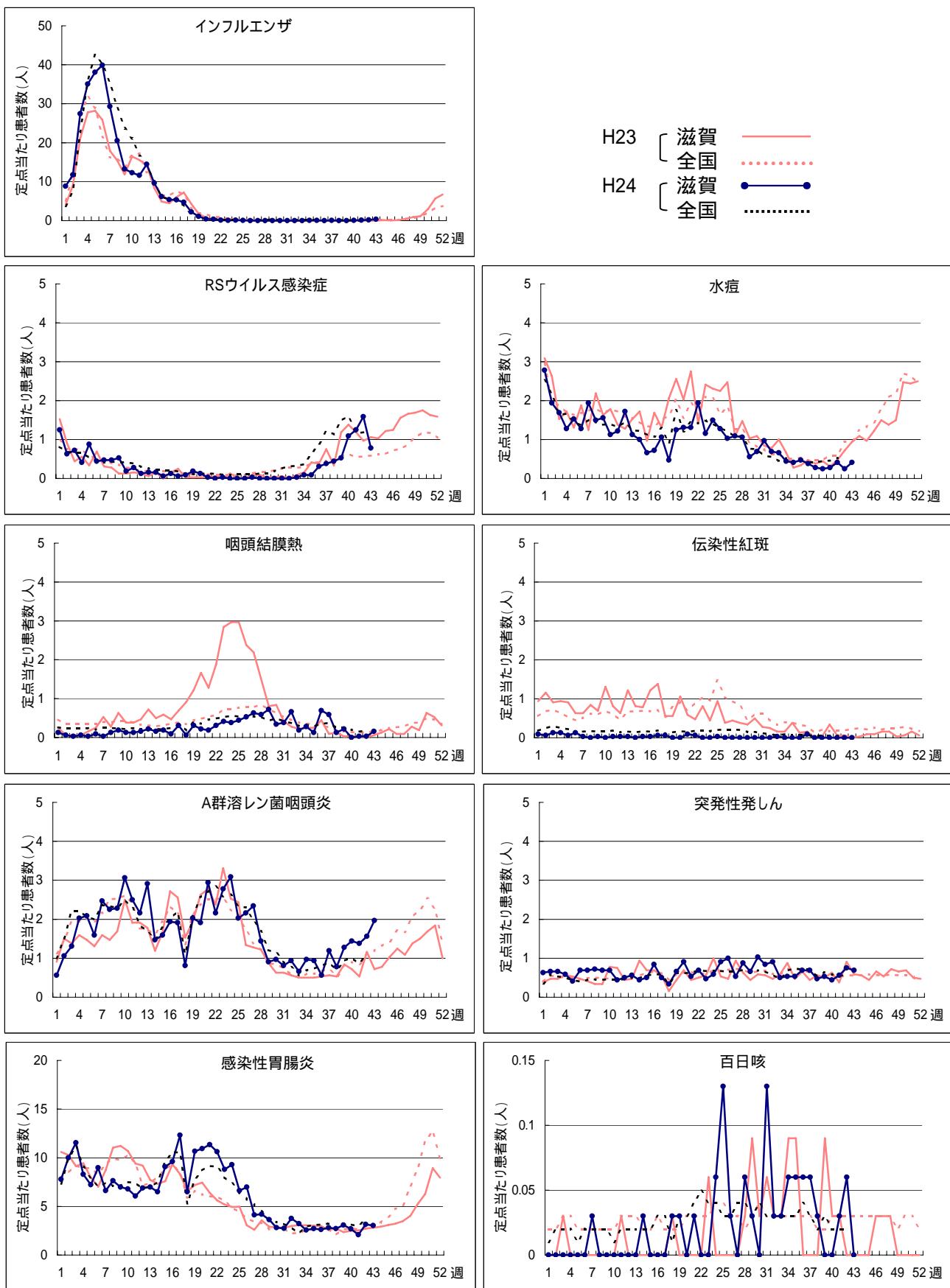
性感染症定点および基幹定点における各疾患の月別・性別発生状況は、左記グラフに示すとおりです。先月と比較すると、性器ヘルペスウイルス感染症では、男性・女性ともに増加していました。

また、各疾患の年齢別発生状況は、下記グラフのとおりです。
淋菌感染症では、15～19歳からの報告がありました。

疾患別・年齢別発生状況(H24.10)



疾病別定点当たり患者数(平成24年第43週、H24.1.2～H24.10.28)



疾病別定点当たり患者数

(平成24年第43週、H24.1.2～H24.10.28)

H23 滋賀 — 全国 - - - - - H24 滋賀 — 全国 - - - - -

